

Concert 3大学共同プロジェクト「音大  
連携による教育イノベーション」～インタラクティブ・コンサート

9月3日、東京音楽大学で小学生対象の「インタラクティブ・コンサート」が行われた。これは、東京音楽大学・神戸女学院大学・昭和音楽大学の3大学共同プロジェクト『音大連携による教育イノベーション——音楽コミュニケーション・リーダー養成に向けて——』の一環として行われたもので、ジュリアード音楽院で小学校へのアウトリーチ・コンサートのトレーニングと経験を積んだ3名の講師、ジェイニー・チョイ(vn)、ウエンディ・ロウ(vc)、ジヘイ・ホン=パーク(p)が、豊島区立目白小学校の4年生3クラスを対象に4曲の作品を演奏した。「インタラクティブ・コンサート」とは、語りや遊びを通して演奏者と聴衆が共に創り出していく双方向型のコンサートで、演奏する作品を特徴づける美的要素——例えば楽器同士の対話、流れるような旋律と一定のリズムの伴奏の組み合わせ、音量の対比、等——をわかり易い例で説明し、実際にリズム打ちやゲーム、ダンス、寸劇等を用いて体感した後で演奏を行うもの。参加した小学生たちは講師たちのトークやゲームで心をほぐされ、ピアソラ、エルガー、ハイドン、シェーンフィードの作品の中の音楽的要素を聴き取ろうと熱心に演奏を聴き、また積極的に質問する姿が印象的であった。3大学の学生は、インタラクティブ・コンサートの作り方について講師から3日間指導を受けた。コミュニケーションに重点を置くこの教育方法は、今後、音楽と社会が関わる様々な場面で活躍できる人材の育成を目指している。(東京音楽大学教授・武石みどり)



東京音楽大学、神戸女学院大学、昭和音楽大学による共同プロジェクト「インタラクティブ・コンサート」